

平成26年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	山岸良浩
全体計画						経費区分	-			内線	3781
事務事業名	4340 消防団運営事業										
所 属	450100 消防本部・消防本部・消防署										
施 策	03021500 消防・救急体制の充実										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	090102 消防費・消防費・非常備消防費									
	事業	020000 消防団運営事業									
事業目的						事業概要・効果					
消防団の安定した運営と地域に根ざした防災活動を支援し、区及び自主防災組織等との連携を図り地域防災体制を強化する						地域防災力の向上を目指し、火災予防活動を計画的に実施し、住民の火災予防思想を高揚する。 各種事業を通じ消防団の魅力を広め、地域のサポートの充実等、消防団の活性化を図る。					

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
	消防団サポート事業所14事業所（4増） 消防団協力事業所15事業所（増減なし） 分団付け女性消防団員9人（1増）
平成26年度 予定	平成27年度 予定
消防団サポート事業所、協力事業所の充実 カラーガード隊の発足	

指標名	消防団サポート事業所の充実				
算式	サポート事業所登録数				単位 事業所
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標		10	15	20
	実績		11		
指標選定の理由	消防団と地域が連携し防災力の向上を図る				
最終年度 目標の根拠					
指標名	消防団協力事業所				
算式	事業所数				単位 事業所
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標		10	10	10
	実績		7		
指標選定の理由	消防団と地域が連携し防災力の向上を図る				
最終年度 目標の根拠					
指標名	女性消防団員の充実				
算式	分団付け女性消防団員数				単位 人
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標		7	8	9
	実績		9		
指標選定の理由	女性の参画、消防団の活性化				
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		19,242	22,636
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,059	945
一般財源		18,183	21,691
人員数 (人)	正規職員	0.9	1.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	6,172.2	6,858.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	6,172.2	6,858.0
市民一人当たりの経費		0.5	0.6
総額		25,414.2	29,494.0

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	5,072	無火災報償金、出動報償金ほか
11節 需用費	4,421	消防団被服、器具置場光熱水費ほか
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	5,606	公務災害補償負担金、消防学校入校負担金、運営交付金ほか
その他	4,143	大会等費用弁償、大会等高速道路利用料、災害時自動車借上ほか

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	5,722	無火災報償金、出動報償金ほか
11節 需用費	6,760	消防団（カラーガード隊含む）被服、器具置場光熱水費ほか
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	5,559	公務災害補償負担金、消防学校入校負担金、運営交付金ほか
その他	4,595	大会等費用弁償、大会等高速道路利用料、災害時自動車借上ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 自治体消防の運営経費のため必須 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 台風等の各種災害に備える組織は本団のみ 	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 助成事業等を活用し積極的な財源確保に努めている 	

振り返り（決算年度の取組み課題）
消防団の活動に対し、より理解をいただく

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
①市に必要な組織、②被雇用者の増加（須坂市80%）、③消防団を中核とした法律から、出勤手当の処遇改善、装備の充実を図って魅力ある消防団とし、災害対応力の充実をし地域防災力の向上を図る。		火災予防活動と各種訓練を実施し、地域に根ざした活動を行うとともに災害弱者の火災、地震や風水害等の災害種別の救出計画作成	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	